



菜の花 研修会
テーマ「看取りケア」
講師 鳥海房枝 先生



鳥海先生の講演「看取りケア」

平成29年3月号
社会福祉法人聖啓会
特別養護老人ホーム菜の花

鳥帽子 1月誕生会 焼きそばを作ろう 2月2日



肉から順に炒めます。



野菜を切ります



野菜に火が通ったら、
いったん取り出して...



麺を投入。
水を加えほぐします。



ほぐれてきたら
ソースで味付け♪



野菜を戻して
よ〜く混ぜます



ずいぶん沢山作るねえ

こちら今日の主役の一人です。
リクエストにお応えして、待ちに待った焼きそばです。
温かいうちにどうぞ!!

富士 誕生会 2月22日







”ハッピーバースデートゥーユー”の歌声から始まり、フルーチェを作ってお祝いしました。
フルーチェを食べて「美味しいね」プレゼントをお渡しして「うれしいよ」と喜んで下さいました。

今月以降の行事予定(現在決定分)

3月22日 書道倶楽部	19日 華道倶楽部
4月4日 開設記念日お祝い膳	26日 書道倶楽部
12日 書道倶楽部	29日～菜の花作品展(～5月7日まで)
14日 手芸倶楽部	

※菜の花だよりは、ホームページからもご覧になれます。
発行：社会福祉法人聖啓会
特別養護老人ホーム菜の花
電話：054-646-7087
<http://seikeikai.info/>
編集：中村




鳥海先生の看取りケア講演
特別養護老人ホーム菜の花
看取り委員会 佐藤葉子

2月17日 菜の花に鳥海房江先生をお迎えし、看取りに対する研修を開催いたしました。

鳥海先生は厚生労働省の施策推進に関して提言を乞われて積極的な発言をしているほか、NPO法人「メイアイヘルプユー」の代表理事として大腿骨頭部骨折の予防研究に取り組まれる傍ら、「高齢者施設における看護師の役割」などの多数の本を執筆されています。普段は全国の大規模会場での講演をされている鳥海先生の講演を地域の身近な施設で聴講できることもあり、他の事業所からの問い合わせも数多くいただきました。当日は雨にもかかわらずたくさんの方がご参加くださり、熱気に溢れた講演会でした。

「老いて」「病んで」「亡くなられていく」高齢者に対し福祉に携わるすべての人が「今何ができるのか」「何をしなければいけないのか」を改めて見つめなおす講演となりました。

日常生活の延長線上に「看取り」があり、入居さ



引続き警戒レベルです。
(3月9日付県健康福祉部)
不要不急の外出はしばらくの間、お避けください。

特養の面会禁止は解除しました。

2月末日をもって、面会制限を解除しています。引続き面会の際はマスク着用をお願いします。

県内のインフルエンザの流行は、引続き警戒レベルです。
(3月9日付県健康福祉部)
不要不急の外出はしばらくの間、お避けください。

れた方の人生を、ご家族様と一緒に「よく頑張って生きてこられた」と顧みるためには常日頃から高齢者と語り、手を握り、その方にとっての大切なことを共有していくケアが何より重要だと思われました。そして人生の幕を下ろそうとされる高齢者の方には「することの大切さ」以上に「そばにいることの大切さ」を学びました。

講演終了後のアンケートに、「いつも研修では眠くなるのに今回は全く眠くなりませんでした」と回答がありました。この一文に目を通したときに鳥海先生の講演が私たち福祉職の気持と関心を力強く引き付けてくださった証だと感じました。

今回の研修で学んだことを菜の花内でどのように形作るか今後の課題ですが、菜の花に同居され、菜の花で過ごされ、最期を迎える瞬間までご本人様、ご家族様に寄り添えるケアができるよう職員一同邁進していきたいです。

舌鼓倶楽部 お汁粉を楽しもう
2月10日



菜の花のお汁粉は、豆から煮るなつかしい味です。
「おいしい」「甘い」と話しながら賑やかなおやつになりました。

華道倶楽部 2月15日



寒い時期だからこそ、華やかに！蘭をアレンジして豪華なフラワーアレンジメントが出来ました

絵手紙倶楽部
2月24日

木蓮・水仙を描いて、春を待ちます。



健康倶楽部 2月9日



懐メロに合わせて、手足を動かします。
マイクを握ってカラオケも楽しみました。

「先生、こんなに丸を沢山いただいて嬉しい！」書道倶楽部
とワクワクのご様子です 2月8日



Healing <ヒーリング>

意味 <ほっとする・心と身体を回復・大宇宙に充滿する命>
キラリホット報告の内容をお伝えします。

3月のHealingは、「A, fresh start」⇒再出発です。

お陰様で菜の花は4月1日で満5年を迎えます。
気持ちを新たに再出発です。
今までの貴重な体験を生かし全てにステップアップを
図る時期に、ある職員の気付きシートの報告を
紹介致します。
H29.2.27
「新規入居の準備でベッドを上げ下げすると、ギーギーと音がした。開設してから5年経った。



開設6年目に向けて咲く蘭

使い込まれた設備や用具が不調、故障してくる可能性があるの、注意していきたい。」その報告で、動いて当たり前、出来て当たり前であった事のメンテナンスの重要性を教えられました。
メンテナンスとは、維持管理を指し、お客様が安全に快適に過ごして戴く為、故障してからでは遅い。事前に保守点検を行ない事故のないようにして行きます。

6年目に向け、「菜の花再出発」のお約束

- ・人材→お客様が安心できる“ひと声”が掛けられる感性のある人財を育てる。
- ・機材→お客様が安心して頼れる様に又、介護者の負担が軽減できる機材の導入。
- ・食材→最後まで美味しいひとさじの食事の提供。非常食の切り替え（5年保存）。
等々に進化を図り、香り高い菜の花を咲かせていきます。